

山口県介護支援専門員協会 臨時理事会 概要

開催日 平成24年5月26日(土) 午後2時30分から4時まで

会場 山口県セミナーパーク社会福祉研修室

参加者 佐々木会長、橘副会長、
松谷理事(総務組織部)
山本史彦理事、林理事、頃末理事、阿部理事
松井康博理事(公益事業部)
藤本真樹理事、福井理事、鬼木理事、
堀田理事(広報事業部)
横山理事、岩本理事、渡邊理事、
田村理事(調査研究部)
三井理事、守田理事、関永理事、河本理事
岩神理事(生涯研修部)
松井清之理事、山本太郎理事、末富理事、板垣理事
藤本邦和事務局長

事務局 山口県社協 福祉人材研修部
主事 川崎真由美、職員 福本かおる

- 1 上程議案 第1号議案 会則(細則)変更について
- 2 協議事項 各部の方向性について

- 1 第1号議案 会則(細則)変更について

事務局について、総会で諮った内容を細則に盛り込む際に理事会で承認を得る必要があるため、理事会を開催させていただく形となった。本会事務局を本会が定める団体に置き、現在のところ委託する団体を山口県社会福祉協議会に置くことを細則で定めることについて質疑を求めたが特になく、満場に諮ったところ、全員異議無く、承認された。決まった会則(細則)についてはホームページで紹介するので確認していただく。

- 2 各部の方向性について

各部毎に集まり、次年度の事業計画、方向性について話し合いを行った。

- ・ 総務組織部

全体的に会長、副会長と共に動きながら、6月9日にケアマネジメント研究大会実行委員会(第1回)を開催する。内容的には昨年と同様になるが情報交換の場として施設ケアマネ等が参加しやすくなるよう、レクリエーション等会員が楽しめるようなものを現実的に考えていく。

- ・ 広報事業部

今年度 8 月、2 月に広報誌を発行する予定。内容については会の内容、広告の募集、各地域の情報等を検討していく。キャスト GX の固定費、機能の見直しを行う。6 月 23 日に部会を長門で開催予定。

- ・ 調査研究部

研究大会で発表をしていく内容の調査を行っていたが、今年度から組織、会員数減少の問題、職能団体としての地位等の調査の必要性があるので調査したい内容について他の部との連携を図っていく。次回の部会でどのような調査をするかについて方向性を決める。

- ・ 生涯研修部

今年度動き始めている研修については執行、中止等も含め検討精査していく。次年度に向けての研修計画も始めていく必要があるので、他団体協賛、助成金が得られる研修を検討し、8 月までに 2 題程度企画を持ち寄り部会で次年度の決定をする。今年度中止が考えられる研修があるのであれば冬場に新しく研修を追加するので、他の部、理事からの協力を得ていく必要がある。

運営協力員について会の執行状況が厳しい現状があるので大きな研修に関しては研修申込をいただいた中の理事の方に協力員のお願いをしていく。研修参加の呼びかけを地域に戻られた際お願いしたい。

- ・ 公益事業部

社会資源情報についてインフォーマルサービスを中心とした内容の枠までが出来ているので中身を精査していく中で、情報を各地域から収集し、現存するサービスが取れる箇所から入力していき形を作る。キャスト GX が運用できるのであれば GX に掲載し、見直しを行うのであれば他のデータベースの形で見れるように作り変えていく。

会員が現場で悩んでいることについて制度の変更、制度の運用問題、事業所加算等について現場の声を聞いてもらい、意見を整理、カテゴリ別に分類していく。関係団体との会議で意見提言し、頂いた情報、意見についても伝達できるようにする。他団体への意見、日本協会に対しても県協会として意見をまとめていく。

防災に関して、日本協会で大地震を想定した机上訓練が行われ、行政、現場の事業所の立場を想定し、災害シミュレーションを行った。山口で起こりうる災害に併せ山口版のマニュアル作成し、シミュレーションの研修会が行えるような形を作る。

- ・ 会長

各部の活動、今後の方向性等いろいろな意見を聞くことができ、団結感など肌で感じることができた。地域の意見を吸い上げ、県、国への意見提言、また地域の方へ報告、伝達をしていく中での理事の役割についても文

章を作成しご連絡していく。理事会について予算的に後2回しか組めない状況だが、予算の見直しを行い、理事会を増やせるよう努めていく。それに併せメールで情報を発信し、連携が取れる形を作っていく。メールに関して会員全員に情報を発信できるよう、地域に戻られた際会員全員のメールアドレスについても把握ができないか検討いただけたらと思う。